



アコギ版

はじめてのアコースティックギター

初心者はとりあえずコレ弾け！！

このテキストで練習し始めた日 _____ 年 __ 月 __ 日

このテキストは YouTube と連動したテキストです
右記 QR コードを読み取って再生リストから動画をご覧くださいか
「初心者はコレ弾け」と検索をして該当の動画を探してくださいませ



練習していてギターって楽しいなと思っていただけましたら
ぜひ「# コレ弾け」でツイッターに呟いてみてくださいませ
疑問点や悩み事なども呟いてみると誰かが教えてくれるかも！？

このテキストはすごい！！面白い！！オススメ！！
そんな感じに思っていただけましたらご友人や知人で
ギターをやっている人に紹介頂けたら嬉しいです

それでは次のページから早速練習をし始めてみましょう！！



みなさん、こんにちは!! 瀧澤克成です!! この度はテキストをダウンロードいただきありがとうございます!!
2009年1月からYouTube動画投稿をはじめ、合計2,100本以上のレッスン動画を公開して
きました。ギター、楽器はめちゃくちゃ楽しいのも、と深い人に興味を持ち、2世の中にギタリストを
もっと増やしたい!! 楽しんで欲しい!! みたいな思いを続けてきました、お陰様で今ではライブなどで
ギターを始めるとか何かで瀧澤さんとした!! なんて言ってる機会も増えました。と水なりに
ギター業界に貢献しているかなんか自分も水なりに思っていた。でもか、ある日ギターを
始めた人が挫折する確率なんという話を耳にしました。

エレキギター大手老舗Kee-er、Fenderの調音にかかりますとギターを始めた人の中
実に90%の人が1年以内に挫折しているとか。え、そんなに!? 多すぎ(いや2割(笑))!? これは
いかんと思っ、何かまだ自分に出来る事はないだろうかと悩んだ結果、今回の動画シリーズとこの
テキストが出来あかりました。このテキストを手に入れたみなさまも今現在、若干この90%に
入りかけかもしれない。教則本に挫折、楽譜に挫折、YouTubeに挫折、という風に。

しかし安心して下さい!! 僕と出会って頂いた事、とこのテキストをダウンロードして頂いた事、
残りの10%に入りますか何かで挫折!! ならた!! ならして下さい!! めちゃくちゃ楽しいんですよ!!
ギター!! どの楽しさをぜひ感じて欲しいんですよ!!

冒頭の動画にあたり通り、初めてギターを触る人が順番にステップ、ステップ出来る様に
難易度なども調整してあります。もちろん苦労はありますが諦めずに頑張れば「ギター、
楽しい!!」と感じる所までいけます!! とにかく弾ける楽しさを重視してレッスンを進めて
いきますので、どうか僕を信じてしばらくの間付いてきて頂けると幸いです!! として
僕と一緒に残りの10%に入って今後の人生をギターと共に楽しんでいきましょう!!

2020.4.10 瀧澤克成

●動画をしっかり確認しましょう！！

今回はすべての曲に解説動画、演奏のお手本動画が付いています。よくわからない所は動画を何回も何回も繰り返して目と耳で確認をしましょう。解説とテキストと演奏動画が色々一致しとらんやんけって所はご愛嬌でお願いいたします(笑)。

●メモはこまめに取りましょう！！

話を聞いていて「あ、今のポイントは大事だな」と思ったらすかさずメモをする様にしましょう。コード譜やテキストの方に書き込む事やメモする事があればどんどん追記していきましょう。人って新しい事を覚えるためにめちゃくちゃ忘れやすく出来ています。一昨日の晩御飯は何を食べたのか瞬時に思い出せる人は多くないですよね。でも逆にしっかりメモを取って覚える努力、忘れないための工夫をすればそれが習慣となって身体に溶けていきます。たかがメモと侮らずに、覚えておきたい事が少しでも出てきたら必ずメモを取りましょう！！

また同じ様に「これはどういう事かな??」とギモンに思う事もあったらそれもメモしておきましょう。今後どこかでギターがうまい人に会ったり、ギターレッスンに通う事になったり、もしくはツイッターなどに質問を投稿する時に必ず役立ちます。実際に人に会った時に「あれ??何を聞こうと思ったんだっけ??」となった事はありますか?? **ギモンは自分の理解度を深める絶好のチャンス**。それを忘れてしまうなんてもったいない！！

●テキストは印刷をしましょう

タブレットやスマートフォンでの閲覧でも可能なのですが、今回のテキストは「印刷してもらおう事前提」で制作をしています。みなさまの練習が効率よく捗るように、できればお手元にテキスト全ページを印刷してお手元に用意して頂けると嬉しいです。用意に余裕がある方は100円ショップなど良いのでクリアファイルも用意出来ると完璧です。

●質問をされる際は出来るだけ具体的に

ツイッター上で **#コレ弾け** タグでご意見ご感想、リクエスト、質問などを呟いてみてくださいませ。ちょっと僕の気まぐれになってしまいましたが、色々お答えをさせていただきます。質問をされる際は出来るだけ具体的に投稿をすると凄く答えやすいですし、もしかしたら僕以外の親切な方が答えてくれるかも知れません。しかし、僕の経験上、初心者の方の8割くらいの質問は「それは練習と時間でカバーできる物っす。」っていう答えになります。「出来ない事」ではなく「わからない事」かどうかをご質問の前にご一考頂けると良いかと思います。

Capo=3f

Intro | G | C | G | C ||

A | G C | G | Em Bm | Am D |
| G C | G | Em Bm | Am D |

B | Em Bm | C G | Em Bm | Am D ||

C | G D | Em D | C Bm | Am D |
| Em EmM7 | Em7 A7 | Am D ||

Inter | G | C | G | C ||

A | G C | G | Em Bm | Am D |
| G C | G | Em Bm | Am D |

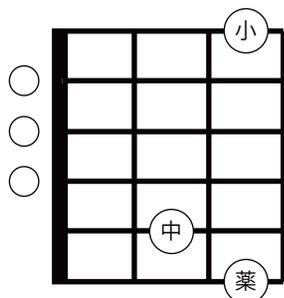
B | Em Bm | C G | Em Bm | Am D ||

C | G D | Em D | C Bm | Am D |
| Em EmM7 | Em7 A7 | Am D ||
| G | C ||

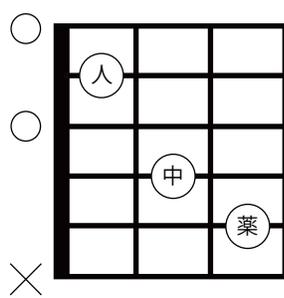
C | G D | Em D | C Bm | Am D |
| Em EmM7 | Em7 A7 | Am D ||

Outro | G D | Em D | C Bm | A7 |
| G D | Em D | C Bm | A7 |
| G ||

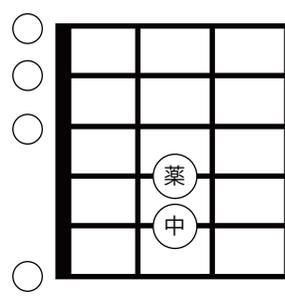
第一章



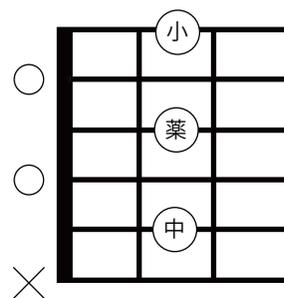
G



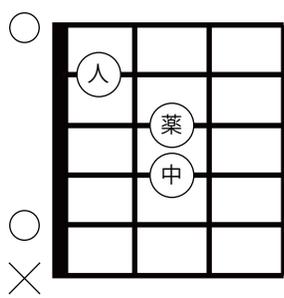
C



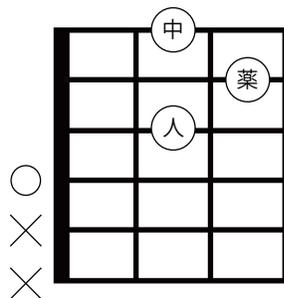
Em



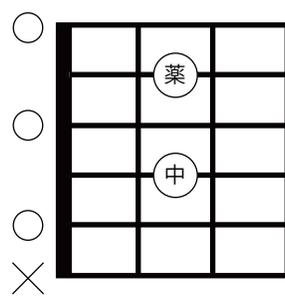
Bm7



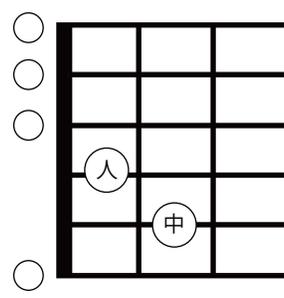
Am



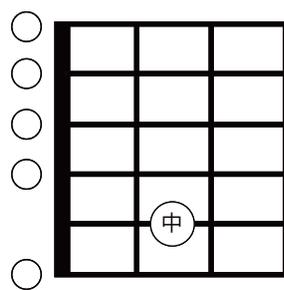
D



A7



EmM7



Em7

動画内で Bm として鳴らしているコードは本来 Bm7 というコードです。実際の Bm は押さえるのが非常に難しいため、押さえ方が易しい Bm7 で代用をしています。この曲に限らずどの曲でも押さえるのが難しい Bm を簡単な Bm7 に置き換えて演奏する事ができます。このシリーズでも基本的にずっと Bm は Bm7 に置き換えて練習していきますので、なんとなく本当は違いがあるという事だけ覚えておいてください。

ココを習得！！

1. とりあえずギターに慣れる事！！

最初はキレイな音が出なくても気にしない！！まずはギターという楽器に慣れる事が最優先。なんとなく音が出たら「よっしゃー！！」と喜んでおきましょう(笑)。

2. 右手は止めない！！

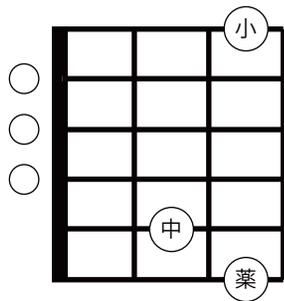
この曲に限らずこれからすべての曲に共通することですが、「右手が止めない」が鉄則です！！左手のコードが間に合わなくても間違っても、じゃんじゃか弾いてしましましょう！！

3. 一気にゴールを目指さない！！

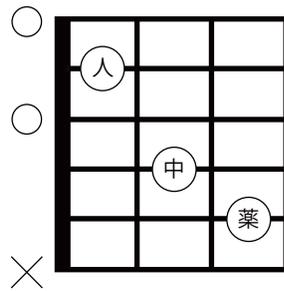
「押さえ方を覚える」「右手を止めない」「部分的に練習する」「通して練習をする」というふうに順番にステップアップして「コードチェンジをスムーズにする」「音をキレイに鳴らす」というステップがやってきます。いきなりキレイな音でコードチェンジをするのはちょっと無謀！！出来る所からコツコツと「出来ていく過程」を楽しむ気持ちで続けていきましょう！！

Intro	G	C	G	Em	
	G	C	G	Em	
C	G	D	Em	D	
	C	D	G	G	
	G	D	C	D	
	G	D	C	D	
B	Em	Bm	C	G	
	Em	Bm	Am	Am	
	D	D			
C	G	D	Em	D	
	C	D	G	D	
	G	D	C	D	
	G	D	C	D	
B	Em	Bm	C	G	
	Em	Bm	Am	Am	
	D	D			
C	G	D	Em	D	
	C	D	G	G	
D	FM7	C	G	G	
	FM7	C	D	D	
Inter	G	D	Em	D	
	C	D	G	G	
B	Em	Bm	C	G	
	Em	Bm	Am	Am	
	D	D	D		
C	G	D	Em	D	
	C	D			
C	G	D	Em	D	
	C	D	G	G	
Outro	G	C	G	Em	
	G	C	G	Em	
	C	D	G		

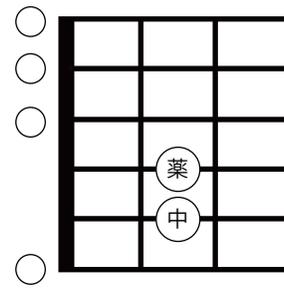
第二章



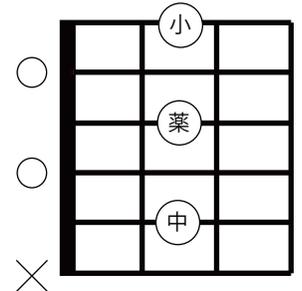
G



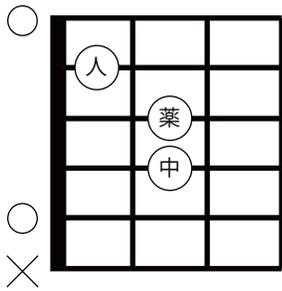
C



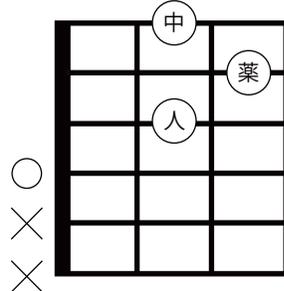
Em



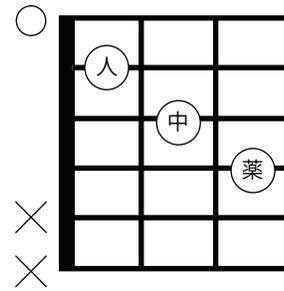
Bm7



Am



D



FM7

Mとmは同じアルファベットではあるのですが、コードの世界では全く別の意味を持ちます。Major(メジャー)とm(マイナー)、しっかり区別出来るように覚えてしまいましょう！！動画でも解説した通り7は本来セブンスと読みますが、一般的に「なんとかセブン」と呼ばれる事が多い気がします。正直どちらでも意味は通じますので気にしなくても大丈夫ですが、たまに重箱の隅をつつくのが趣味みたいな音楽理論とかで凝り固まった音楽の方向性を根本的に間違えた陰湿な人がいたりするので、そういう人に出くわして何かしら偉そうに指摘をされたら「ああ！！そうなんすね！！スゲエッすね！！」って適当にかわしてほくそ笑んでおきましょう。

ココを習得！！

1. ストロークの一発目にコードを完成させる！！

小節の頭でコードを鳴らしていると一気に「曲の完成度」みたいなのがアップします。前回の右手を絶対に止めないと併用してしっかり意識をして実践してみてください。

2. 鳴らさない弦は避ける！！

たとえばCコードの6弦、Dコードの5弦と6弦の様にXマークが付いて「この弦は鳴らさないでください」という指示があるコードがあります。これらのコードは理想を言えば左手の使っていない指で鳴らさない弦を軽く触って音が出ない状態を(ミュートといいます)作るべきなのですが、最初からそれをやろうとすると非常に難易度が上がります。なので最初は右手で出来る限り「避ける」という感覚で練習を続けてみてください。

3. 諦めない！！

とりあえずヌルっとやっているとヌルッとうまくなるので、ヌルッと続けてみてください。うひひ。

Capo=1f

C | CM7 D | Bm Em | CM7 D | Bm Em |
| CM7 D | Bm Em | CM7 D | Em |
| CM7 D ||

Inter1 | CM7 D | Bm Em | CM7 D | Bm B7 |
| CM7 D | Bm Em | Am Bm | CM7 B7 ||

A | Em CM7 | D B7 | Em CM7 | Am B7 |
| Em CM7 | D B7 | Em CM7 | Am B7 ||

B | CM7 | D | Bm B7 | Em D |
| CM7 | D B7 | Em CM7 | Am |
| D B7 ||

C | CM7 D | Bm Em | CM7 D | Bm Em |
| CM7 D | Bm Em | CM7 D | Em |
| CM7 D ||

Inter2 | CM7 D | Bm Em | Am B7 ||

A | Em CM7 | D B7 | Em CM7 | Am B7 |
| Em CM7 | D B7 | Em CM7 | Am B7 ||

B | CM7 | D | Bm B7 | Em D |
| CM7 | D B7 | Em CM7 | Am |
| D B7 ||

C | CM7 D | Bm Em | CM7 D | Bm Em |
| CM7 D | Bm Em | CM7 D | Em |
| CM7 D ||

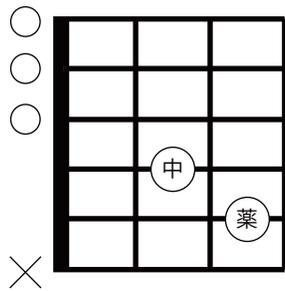
Inter3 | Em EmM7 | Em7 CM7 | Am G | A7 B7 |
| CM7 Bm Am | CM7 Bm Am B7 ||

C | CM7 D | Bm Em | CM7 D | Bm Em |
| CM7 D | Bm Em | CM7 D | Em ||

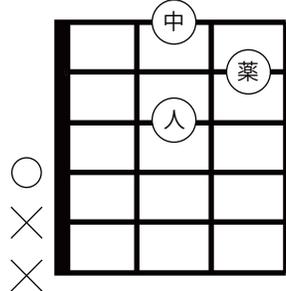
C | CM7 D | Bm Em | CM7 D | Bm Em |
| CM7 D | Bm Em | CM7 D | Em |
| CM7 D ||

Outro | CM7 D | Bm Em | CM7 D | Bm B7 |
| CM7 D | Bm Em | Am Bm | CM7 B7 ||
| CM7 ||

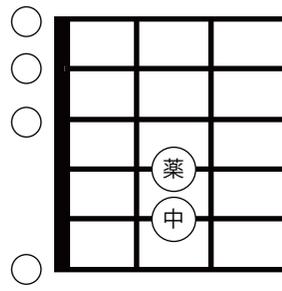
第三章



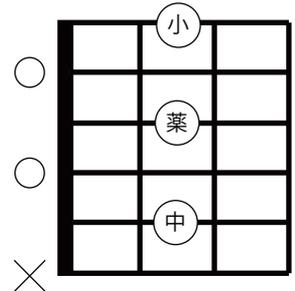
CM7



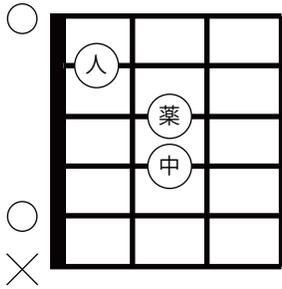
D



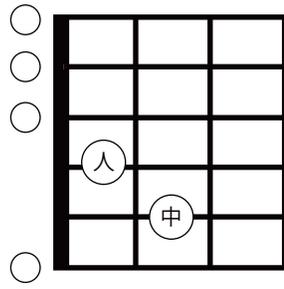
Em



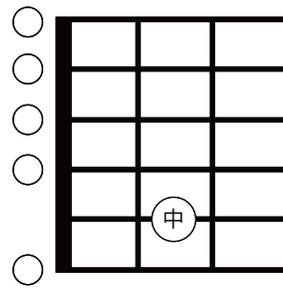
Bm7



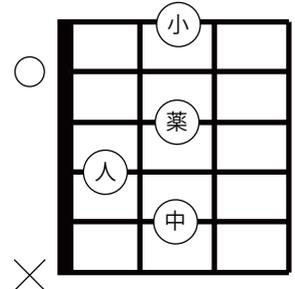
Am



EmM7



Em7



B7

全く新しいコードというのはCM7のみでEmM7(イーマイナーメジャーセブン)やEm7は既に糸で練習をしましたね。なのでこの曲はコード自体はとても簡単に出来るはず。ただ動画でもお伝えした通り、苦労するのはなんともいってもリズムの切り替え。でもこのリズムの切替がしっかりスムーズに出来るようになると「なんかギター弾けている感」みたいなのがググッと湧き上がって楽しくなってくると思いますので、頑張ってくださいませ！！

ココを習得！！

1. 「リズムの切り替えだけ練習」を何度も繰り返す

コードは一切押さえなくていいので、左手をブラッシングの状態にしてまずはストロークだけを何度も何度も繰り返してみてください。「何も考えなくてもなんとなく自然に出来る」という状態がベスト。その状態にたどり着くには何回も転んで自転車に乗れるようになったようにひたすら繰り返すのが一番シンプルで強力で手っ取り早い練習方法です！！

2. 出来る限りラクに弾く意識をする

今までフォームに関しては全てすっ飛ばしておりましたが、そろそろ意識をしてみましょうか。本当は左手、右手、背中、腰、構え方、手の角度、色々細かくあるのですが、まず最初に意識してほしいのは「とにかくラクに弾くこと」。例えばスポーツ選手とか、めちゃくちゃすごい事をやっている姿ってなんか「すごい負担なく」「効率よく」「どの動作もサマになっている」みたいな感じがしませんか？？実はギターにおいても同じで、身体に負担を掛けないスマートなフォームというのは一番効率のいいフォームだったりするので。鏡を見ながら動きをチェックして、どうすればもっとラクに弾けるようになるのかを研究してみましょう！！

Capo=2f

Intro | C | Bm | Em | Em |
| C | Bm | Em | Em |

A | G | Am | D | Em |
C	G	C	D	
G	Am	D	Em	
C	G	C	D	

B | Bm | Em | Am | D |
| Bm | E7 | Am | D B7 ||

C | C | D | B7 | Em |
C	D	Bm	Bm	
C	D	B7	Em	
C	D	Em	Em	

Inter | C | Bm | Em | Em |
| C | Bm | Em | Em |

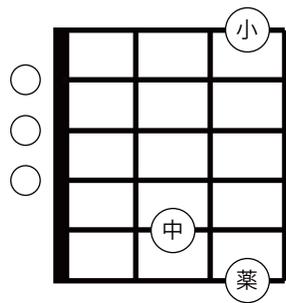
A | G | Am | D | Em |
C	G	C	D	
G	Am	D	Em	
C	G	C	D	

B | Bm | Em | Am | D |
| Bm | E7 | Am | D B7 ||

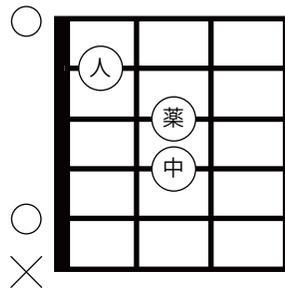
C | C | D | B7 | Em |
C	D	Bm	Bm	
C	D	B7	Em	
C	D	Em	Em	

C | C | D | B7 | Em |
| C | D | Em | Em |
| Am | Bm | Esus4 | E ||

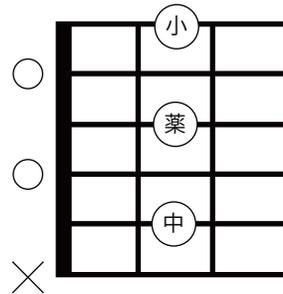
第四章



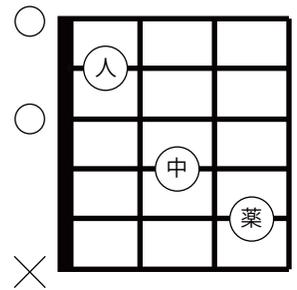
G



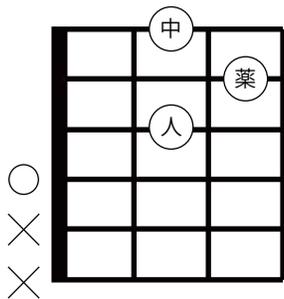
Am



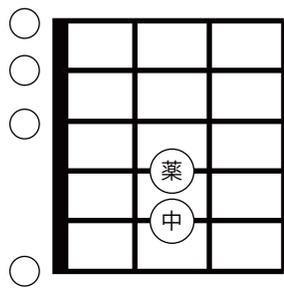
Bm7



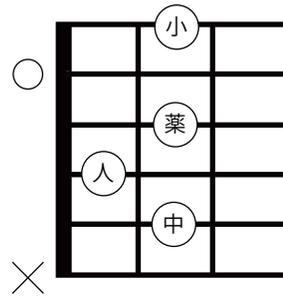
C



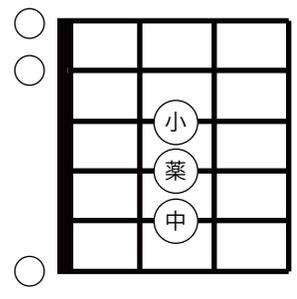
D



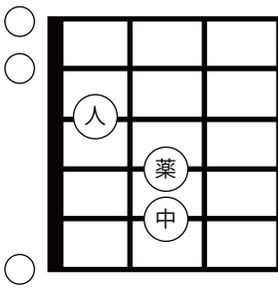
Em



B7



Esus4



E

4曲目にもなるとかなりギターという楽器にも慣れてきて、コードに対する苦手意識みたいなのはなくなってきているのではないでしょうか。それぞれのコードの押さえ方を覚えられたり、コードチェンジもそれなりに速くなってきたりして、初めてギターに触れた時のあの絶望感がずいぶんと薄れてきたかと思います。この曲で登場するコードもほぼ今まで使ってきたコードばかり。一番最後だけ新しいコードが登場しますが、難易度としては大したことはないフォームです。又ルックと覚えてしまいましょう！！

ココを習得！！

1. メトロノームを使って練習をしてみよう

音楽室にあったカチコチとやかましいマッシーン、メトロノーム大先生。メトロノーム大先生は体調や気温、室温、その場のテンションに惑わされることなく常に一定のリズムを叩き出す非常にクレバーでクールでニヒルなダンディズムです。彼と一緒に練習する事によって自分の出来てないけど今までなんとかごまかせてた所が非常にあらわになり、「出来てたと思ってたら全然出来てないやんけ・・・。」と叩きのめされます。でもこの儀式は誰でも必ず一回は通らなければいけない儀式なので、先にさっさと済ませてしまいましょう。大人になってからおたふく風邪とか厄介じゃんね。仕事休みにくいし。メトロノームはもちろん実機でもいいのですが、昨今はスマートフォンの無料アプリが便利なのでそれでいいです。テキストに検索して調べてDLして叩きのめされておくとよいでしょう。

2. 疲れたら適度に休む

「うーん、うまく出来ないぜ！！」となったらたまには休みましょう。ふて寝をすると翌日解決してた、うまくなってたなんてのも割とよくある話です。疲れたり眠くなったりしたら寝ましょう。ちなみに僕は毎日8時間寝るようにしています。

Intro | D A7 | C Bm | BbM7 | A7sus4 A7 ||

A | Bm | D | Em | A7sus4 A7 |
| Bm | D | Em | A7sus4 A7 ||

B | Bm A | G | Bm A | G |
| Em | A7 ||

C | D | D | Bm | Bm |
G	A7sus4 A7			
D	D	Bm	Bm	
G	A7sus4 A7	Bm	G	

A | Bm | D | Em | A7sus4 A7 |
| Bm | D | Em | A7sus4 A7 ||

B | Bm A | G | Bm A | G |
| Em | A7 ||

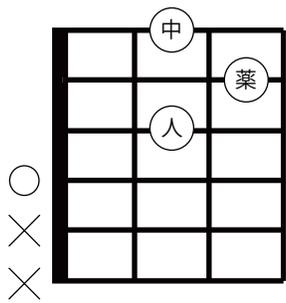
C | D | D | Bm | Bm |
| G | A7sus4 A7 ||

D | C | Bm | C | Bm |
| G A | Bm G | Em | A7sus4 |
| A7 ||

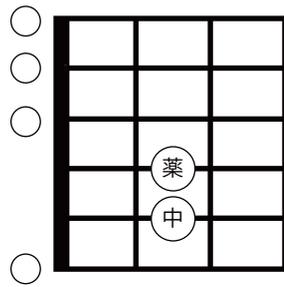
C | D | D | Bm | Bm |
G	A7sus4 A7		
D	D	Bm	Bm
G	A7sus4 A7	Bm	G
Bm	G		

Outro | C Bm | BbM7 D | G ||

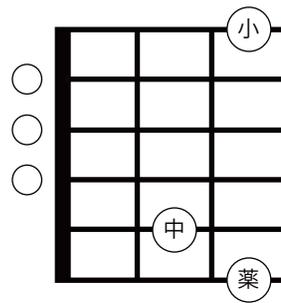
第五章



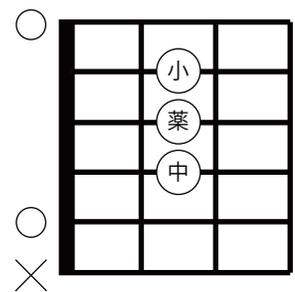
D



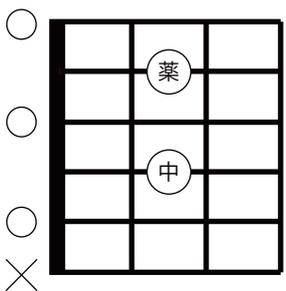
Em



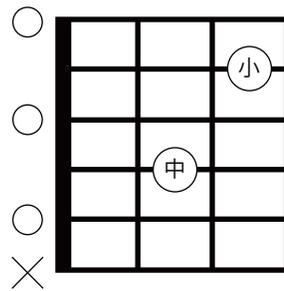
G



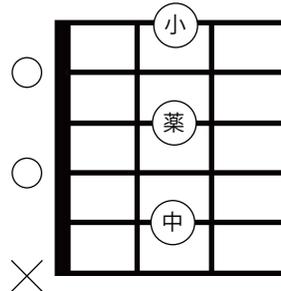
A



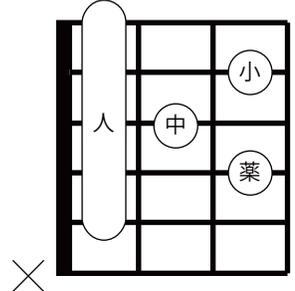
A7



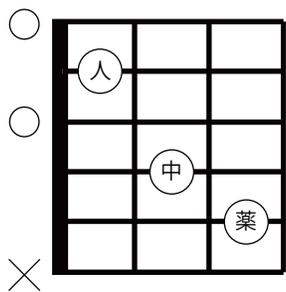
A7sus4



Bm7



BbM7



C

コードの種類がちょっくら増えてきました。同じ A 系のコードでもこの曲の中では A と A7、そして A7sus4(エーセブンスサスフォー)という3つのコードを使い分けます。ややこしく感じるかも知れませんがそういう時もあるって事で何かと諦めに似た感情で受け入れるという事をして頂けるとコレ幸いです。そしてこの曲の一番の難関は誰がなんと言おうとも BbM7 でしょう！！しかしこの BbM7 が登場するのはイントロとアウトロだけなので難しかったらイントロとアウトロ、すっ飛ばしてもいいと思います。とりあえず「それっぽく出来るようになる事」が大事なんですよ、はい。

ココを習得！！

1. ダイナミクス(強弱)を意識してみよう

ずっと同じ強さで弾くとどうしてもガシャガシャした雰囲気になってしまい、心地よさとはかけ離れたファンキーなサウンドになってしまいがち。音楽は揺らぎが大事です。時に激しく、時に優しく、その緩急やメリハリみたいな、アメとムチみたいな感じのサムシングが凄じ度良くて、メールの返事はすぐにしちゃうメとかそういう話は恋しちゃったからでありまして、まあとにかく素敵なサウンドを奏でられるように心がけましょう。そういえばカレーって美味しいよね。

2. そんなに書くことがない

市販の教則本とかだとかこういう「ココを習得！！」みたいなコラムってすごい頭を捻ってネタを出して、むりくりそれっぽい文章を書いて仕立てなきゃいけない、わたし実はそういうのすごい苦手で頭がプスーってしちゃうんだけど、もうこのテキストだったらやりたい放題で、自由って最高だねって事をわたしは君に伝えたい。俺は自由だ！！でも人に迷惑を掛けてはいけないという制約がある限りは自由ではないとも取れるけど、そういう理屈っぽい奴って多分友達少ないよね。

Capo=2f

A | G | D | Am | C G |
G	D	Am	C G	
G	D	Am	C G	
G	D	Am	C G	

B | C | D | Bm | E7 |
| Am | D | C | G ||

Inter | G | D | C | G |
| G | D | C | G |

A | G | D | Am | C G |
G	D	Am	C G
G	D	Am	C G
G	D	Am	C G

B | C | D | Bm | E7 |
| Am | D | C | G ||

C | G | C | G | C G |
| G | C | G | C G ||

Inter | G | D | C | G |
| G | D | C | G |

A | G | D | Am | C G |
G	D	Am	C G
G	D	Am	C G
G	D	Am	C G

B | C | D | Bm | E7 |
| Am | D | C | G ||

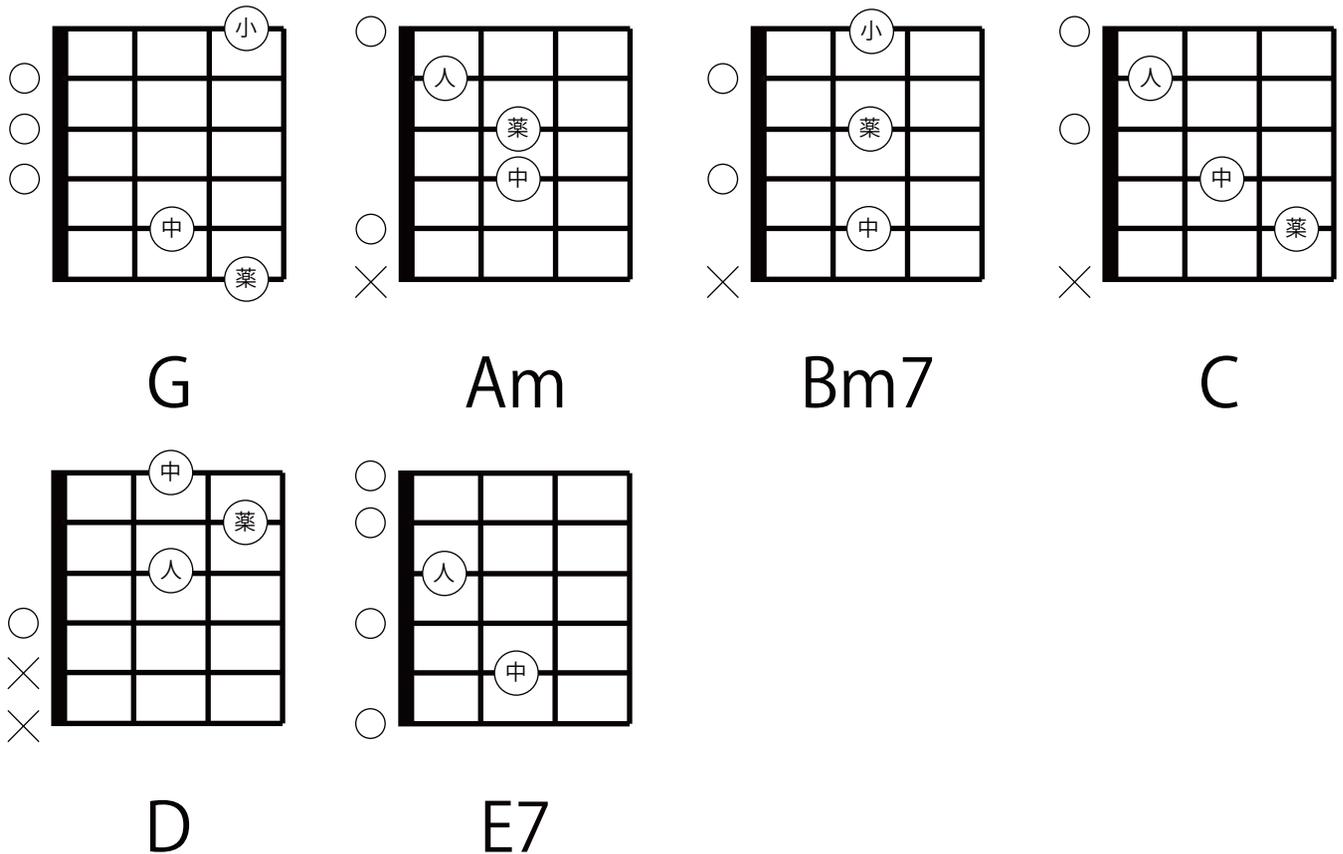
C | G | C | G | C G |
| G | C | G | C G ||

C | G | C | G | C G |
| G | C | G | C G ||

Inter2 | G | C | G | D |
| G | C | G | D |

A A B C C
※あとはこの辺のセクションを繰り返します

第六章



この曲は正直めちゃめちゃ簡単で、ノリノリで楽しんでもらえればなーと思って盛り込みました。誰かと集まったときとか、イベントのときとか、学校のライブとか。何かと行事の時に使うとめっちゃ便利だと思うのでよければ覚えておいてくださいませ。友達に「何かちょっとギター弾いてよ」と言われたときとかいいかもですね。楽しげだし、簡単だし、曲もいいし、盛り上がること間違いなしだし。

上達を早めるコツ

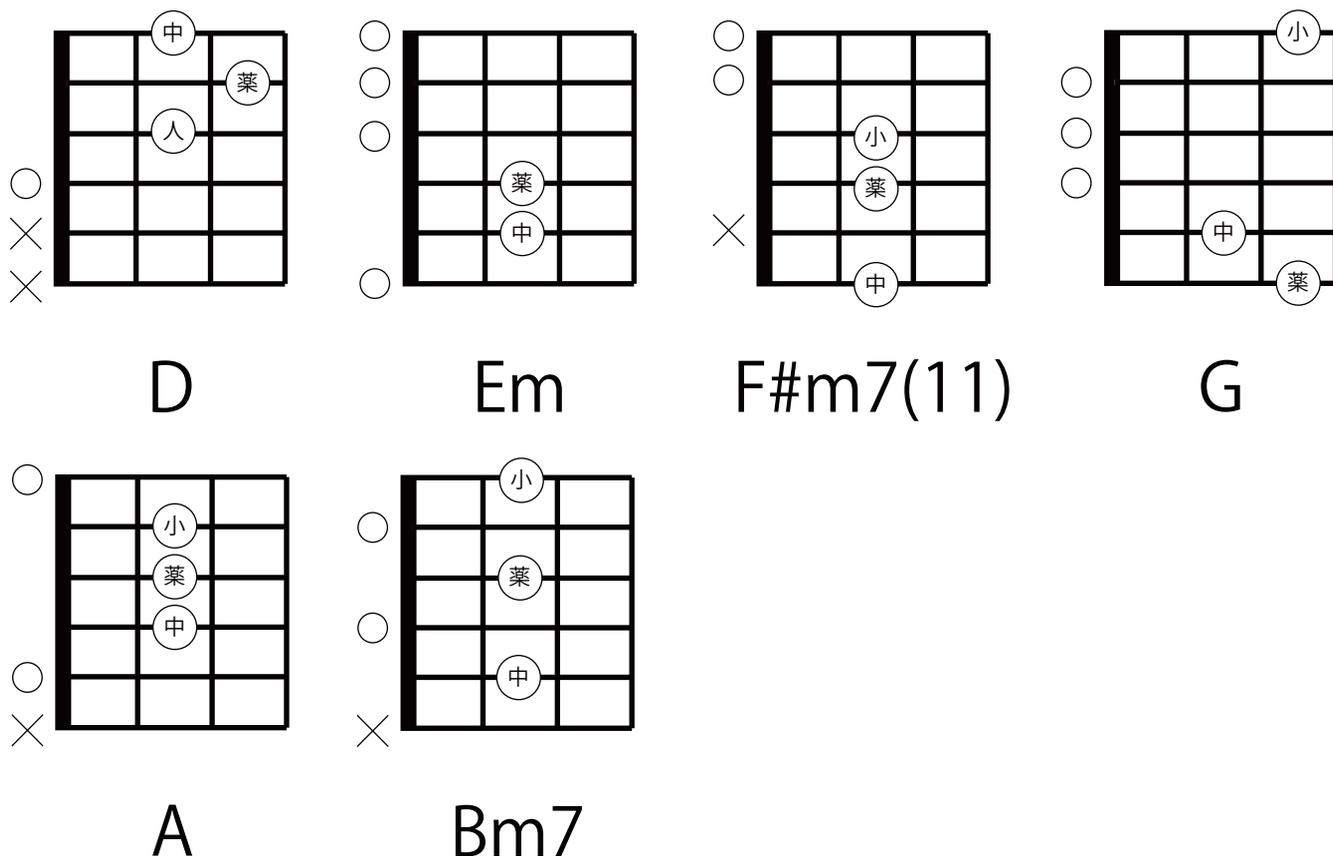
日々の練習記録、成長記録を撮影・録音してみよう

世の中いろんなギターの先生がおりますが、僕は基本的に「上達に近道はない」と言い切るタイプの人です。失敗や間違いがあったとしても、それがなかったら気付けない答えやとり着けない経験があったりするので、迷ったり悩んだりする事も上達の一つだといつも生徒さんには伝えております。じゃあ「上達を早めるコツ」というのはなんなのか。それは「出来る限り多くの時間をギターの練習に費やす事」。じゃあ沢山の時間をギターに充てるためにはどうしたらいいのかというと、練習方法も大事ですが、まずはなにより「**ギターを楽しむ事**」だと思っておりますよ。だって楽しかったら沢山弾くし、沢山弾けばうまくなるし、うまくなったらもっと楽しいし、、、そんなループが理想の状態。

で、モチベーションを上げる方法ってのはいくつかあって、その中の手軽で強力な物の一つに録音・録画があるのです。毎日でもいいし、たまにでもいいので練習している所を保存しておいてください。しばらく経ってまたうまくなってきた頃に見返したり聞き返したりすると、「お、ちゃんとうまくなってるんだなあ。」と染み染み実感することが出来ます。うまくなったら楽しい、楽しいからもっと弾く、もっとうまくなる、更にうまくなるともっと楽しい、更に楽しいと、、、うひひ。。。

Intro	D	A	Bm	F#m	
	G	F#m	G	A	
A	D	A	Bm	A	
	G	D	G	A	
	D	A	Bm	A	
	G	D	G	A	
B	Bm	F#m	G	A	
C	D	A	Bm	A	
	G	F#m	Bm	G	A
	D	A	Bm	A	
	G	F#m	Bm	G	A
	D	A			
A	D	A	Bm	A	
	G	D	G	A	
B	Bm	F#m	G	A	
C	D	A	Bm	A	
	G	F#m	Bm	G	A
	D	A	Bm	A	
	G	F#m	Bm	G	A
D	Bm	A	D	A	
	Bm	A	G	A	
Inter	D	G	A	Bm	
	G	A	A		
C	D	A	Bm	A	
	G	F#m	Bm	G	A
	D	A	Bm	A	
	G	F#m	Bm	G	A
C	D	A	Bm	A	
	G	F#m	Bm	G	A
	D	A	Bm	A	
	G	F#m	Bm	G	A
D	D	G	A	Bm	
	G	A	D	A	
Outro	D	A	Bm	F#m	
	G	F#m	G	A	D

第七章



F#m7(11) というなんだかよくわからない計算式みたいなコードネームが出てきました。こちらのコードは「エフ シャープ マイナー セブンス アドイレブン」という非常に長ったらしい名前になります。知らないと「えっ！？はっ！？覚えられねーよ！！」となるかも知れませんが、まあそれぞれ m とか 7 とかの読み方を覚えていればそんなに難しくはないかと思えます。カッコに入っている数字は「アドなんとか」っていう言い方をしまして例えば D(9) とかだと「ディー アドナイン」なんていう読み方をします。楽譜によっては書き方が違って Dadd9 と書いてある場合もあります。わたしは D とか A に関しては Dadd9 とか Aadd9 って書いて、F#m7 に関しては F#m7(9) って書くことが多いんですけど、なぜかと聞かれたら「なんとなく」としか答えられません。とかいってセオリーがちゃんとあったらごめん。

ツイッターに投稿しよう

ツイッターに投稿をするとギターが 10 倍楽しくなる！？

ギターに限った話ではなく、何か共通の悩みとか楽しみとか話したり共有出来る人が出来ると楽しかったりするじゃないですか。練習方法や機材、音楽の情報交換なんかするとより一層ギターが楽しくなるってもんですよ。さあ、騙されたと思って # コレ弾けのタグでツイートを試みましょう。わたしがエゴサして真っ先にいいねにいけます。場合によってはリツイートしちゃったりしますよ。ネット上のちょっとした知り合いみたいなのだけでも十分楽しくなりますし、そういう意味ではツイッターってめちゃめちゃ便利なツール。どんどん活用しちゃいましょう！！一応個人情報とか、顔出しうんぬんとかの自己責任的なアレは気をつけてねん！！

でも道具ってのは本当に使いようでさ、ツイッターって便利だけど結構危険な所もあるよね。よくバイトロとかいって、冷蔵庫入るアルバイトさんとか、ふざけて牛丼大盛りにするアルバイトさんとかが話題になったりするけど、わたしが高校生の頃とかにツイッターとかスマホとかなくて本当に良かったと思います。ナチュラルに炎上案件を量産する単なるアホだったので真剣に命拾いたなあと思うのですよ、いやマジで。あぶねえ。アホに道具を持たしたらいけねえっす。

Capo=2f

C | G C | D B7 | Em C | $\frac{2}{4}$ D ||

Inter | $\frac{4}{4}$ G C | D Em | G C | D Em |
| G C | D Em | G C | $\frac{2}{4}$ D | $\frac{4}{4}$ C ||

A | G C | D B7 | Em C | A7 D |
G C	D B7	Em C	D G	
G C	D B7	Em C	A7 D	
G/B C	D B7	Em C	D G	

B | FM7 | C | FM7 | C |
| D C | G/B G | A7 | D |
| D ||

C | G C | D B7 | Em A7 | Dsus4 D |
| G C | D B7 | Em A7 | D G ||

Inter | G C | D Em | G C | D Em |
| G C | D Em | G C | $\frac{2}{4}$ D | $\frac{4}{4}$ C ||

A | G C | D B7 | Em C | A7 D |
G C	D B7	Em C	D G	
G C	D B7	Em C	A7 D	
G/B C	D B7	Em C	D G	

B | FM7 | C | FM7 | C |
| D C | G/B G | A7 | D |
| D ||

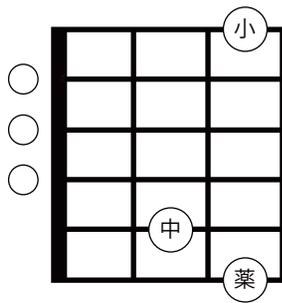
C | G C | D B7 | Em A7 | Dsus4 D |
| G C | D B7 | Em A7 | D G ||

C | G C | D B7 | Em A7 | Dsus4 D |
| G C | D B7 | Em A7 | D G ||

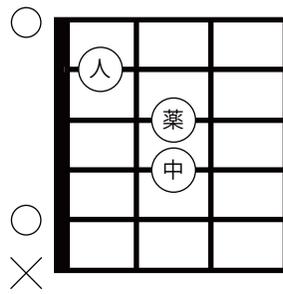
Outro | G C | D Em ||

第八章

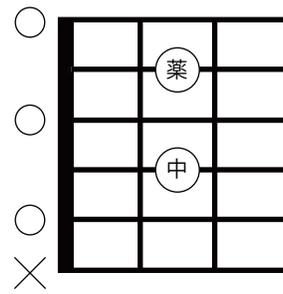
Inter | G C | D Em | G C | D Em |
| G C | D Em | G C | $\frac{2}{4}$ D | $\frac{4}{4}$ C ||



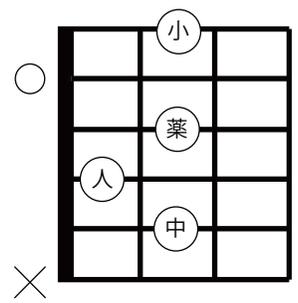
G



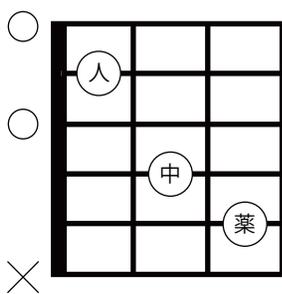
Am



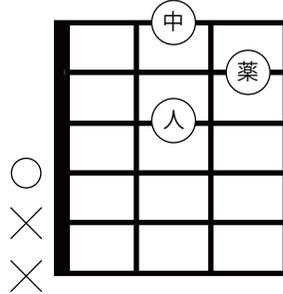
A7



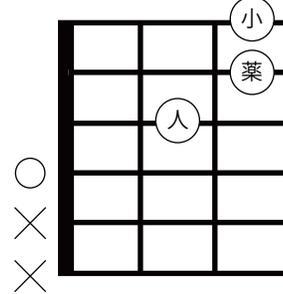
B7



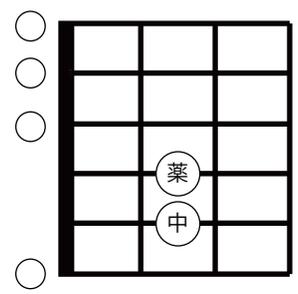
C



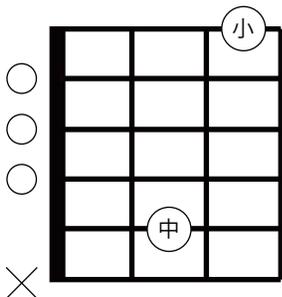
D



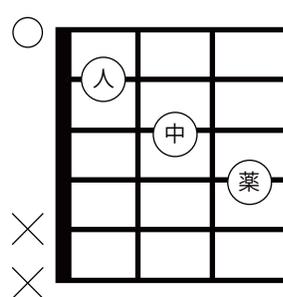
Dsus4



Em



G/B



FM7

結構ゆったりした雰囲気の曲なので簡単かと思いきや意外と弾いてみるとテンポが速くて焦る曲だと思います。今までのコードチェンジの速さやストロークの正確さ、右手を止めない技術やなにより焦らない心など色んなものが求められる曲かと思います。焦らずゆっくり、なめらかに急いでラクに弾きましょう。ってなんじゃそりゃ！！

「まねる」と「まねぶ」

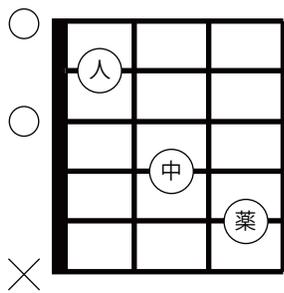
上達上手はパクリ上手！！

わたしはいろんなソフトを沢山使うので、YouTubeでチュートリアルビデオをよく見るのですが、そういうビデオを見るときは必ず全ての動作を丸ごと真似します。説明してくれているテーマを学びながらその投稿者さんが使っているショートカット、メニューの選び方、ウィンドウの配置、マウスの動かし方、全てを真似するんです。そうするともっと効率のいい操作の仕方や便利なショートカットなども同時に学べたりする。二次元の「単なる知識」ではなくて、その投稿者さんが培ってきた「立体的な経験」を自分にそっくりそのまま経験させる事でめちゃパワーアップするんです。

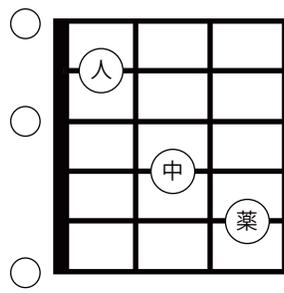
是非動画をみながら僕の動作や身体の動かし方、構え方、座り方、全てを真似してみてください。そうすると動画やテキストでは説明しきれない数々の「立体的な経験」があなたに訪れるはず。 「まねぶ」はギター、スポーツ、勉強、資格、仕事、世の中の全ての事に共通する超効率の良い練習方法。「教えてもらうのを待つ」より「いい所を盗みにいく」みたいなマインドをどうか大事にしてくださいませ！！逆にずっと「教えてもらう事を待っている」となかなか上達しませんよ！！

Intro	FM7	G	Em	Am	
	D7	D7	G	G	
A	C	Am	F	G	
	Em	Am	F	G	
	C	Am	F	G	
	Em	Am	F G	C	
B	F	Fm	Em	Am	
	D7	D7	G	G	
C	C	G	Am	G	
	F	C/E	D7	G	
	C	G	Am	G	
	F	C/E	Dm G	C	
	C				
A	C	Am	F	G	
	Em	Am	F	G	
	C	Am	F	G	
	Em	Am	F G	C	
B	F	Fm	Em	Am	
	D7	D7	G	G	
C	C	G	Am	G	
	F	C/E	D7	G	
	C	G	Am	G	
	F	C/E	Dm G	C	
Inter	F	G	Em	Am	
	F	G	Em	Am	
	D7	D7	G	G	
C	C	G	Am	G	
	F	C/E	D7	G	
	C	G	Am	G	
	F	C/E	Dm G	C	
	F	C/E	G		
Outro	C	D7	Fm	G	
	C	D7	Fm	G	
	C	D7	Fm	G	
	C	D7	Fm	G	
	C				

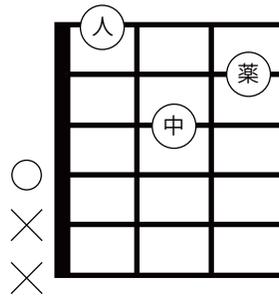
第九章



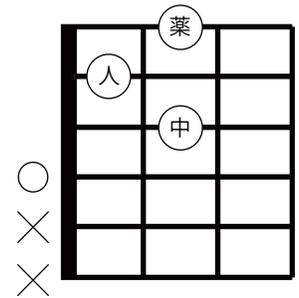
C



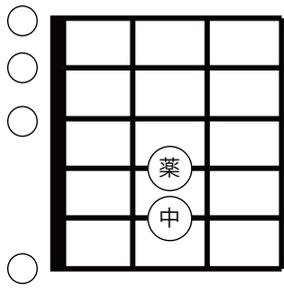
C/E



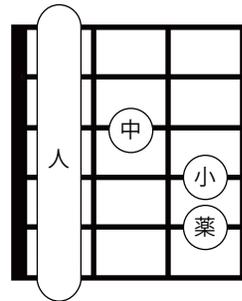
Dm



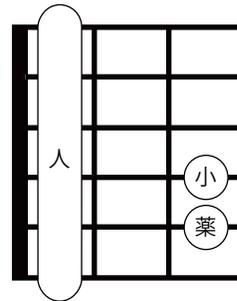
D7



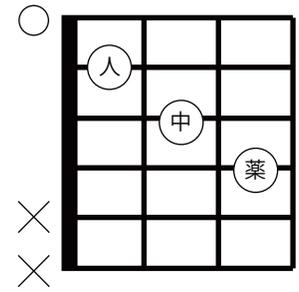
Em



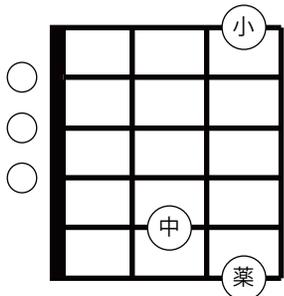
F



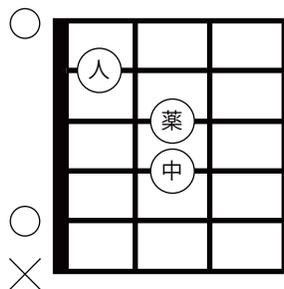
Fm



FM7



G



Am

登場してしまいました！！Fの壁！！エフの壁でございますよ！！ギターをやった事がなくても「エフ・コードで挫折した」みたいな話って聞いた事ある人多いかなと思います。そのエフがやってまいりましたが、今までめっちゃめっちゃエフを避けた選曲をしてたんですよ。ここでいっちょ頑張ろうかなと思ひまして、登場させてみたり。さあ！！勇気を出して、レッツトライでございます！！

「わかる」と「できる」

まず目指すのは「わかる」という状態

これもまた生徒さんによくする話なのですが、「わかる」と「できる」は別物です。新しいチャレンジをして、最初は「できない」というのは当たり前話なんですよ。チャレンジしたそばから「出来ない〜！！」と文句を言う人は根性が足りません。出来ないのがいいんですよ！！出来ないから楽しいんですよ！！なんでも出来たら他人なんかいらぬし、社会も政治も世界もいらなくなってしまう。僕らは「足りない」からこそ支え合って、補い合って生きていけるのさ！！それが愛！！

ええとですね、つまりは最初から「できる」を目指してはいかんという事です。まず「できないけどわかる」という状態に持っていくことが大事。最初は「できないし、わからない」の状態。そこから手順を確認して方法を覚えて「できないけど、わかる」に持っていく。そこまで出来たら後はひたすら鍛錬！！泥団子を磨いていくかの如く、ひたすらに繰り返しましょう！！そうするとある時に「できそうだけど、できない」がやってくるんです。それまでは辛抱強くいきましょう！！そこにたどり着ければ愛の伝道師の出来上がりってもんですよ！！叫んでいこうぜ！！愛を！！

A	D A Bm A G A F#m Bm
	G A F#m Bm Em D A
	D A Bm A G A F#m Bm
	G A F#m Bm Em A D

B	Gm C7 F Dm Gm A7 D
	Bm G E7 A7

C	D F#7 Bm D7			
	G A F#7 Bm E7 A7			
	D F#7 Bm D7			
	G A F#7 Bm GM7 F#m Em A			
D A Bm A G F#m Em A				

A	D A Bm A G A F#m Bm
	G A F#m Bm Em A D

B	Gm C7 F Dm Gm A7 D
	Bm G E7 A7

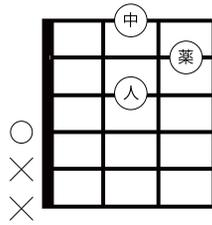
C	D F#7 Bm D7
	G A F#7 Bm E7 A7
	D F#7 Bm D7
	G A F#7 Bm GM7 F#m Em A
	D D

Inter	Bb C D Bb C D
	Bm G E7 A7

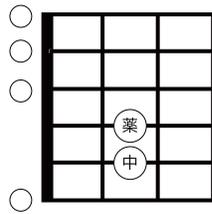
C	D F#7 Bm D7
	G A F#7 Bm E7 A7
	D F#7 Bm D7
	G A F#7 Bm GM7 F#m Em A
	D GM7 F#m Em A D
	GM7 F#m Em A

D A Bm A G F#m Em A D				
-----------------------------	--	--	--	--

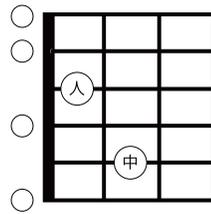
第十章



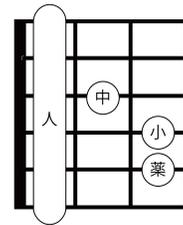
D



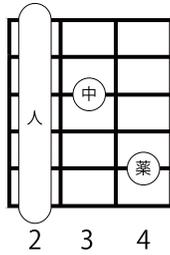
Em



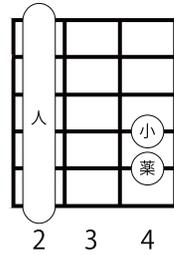
E7



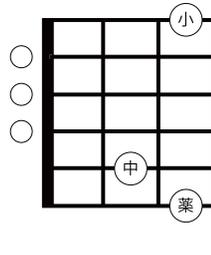
F



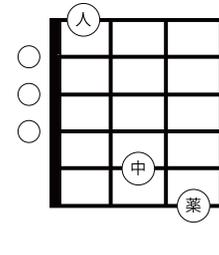
F#7



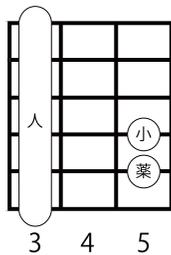
F#m



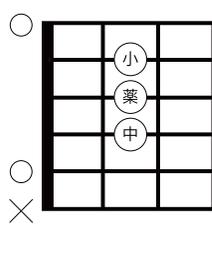
G



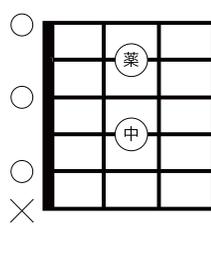
GM7



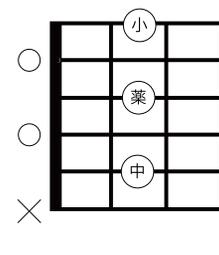
Gm



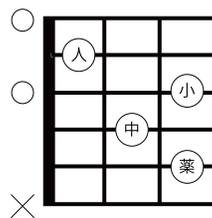
A



A7



Bm7



C7

最後にふさわしく、めちゃめちゃコードが増えました。あとセーハコードも問答無用で多数出てきます。Fを乗り越えたなら出来るはず！！いつだかF#mをF#m7(11)とかで簡単にアレンジして練習したこともありましたが、ここではちゃんとしっかりF#mを押さえていっちゃいましょう！！今苦労しておけばどんどん上達して行って、あとあときっとラクになる！！今が頑張りときだ！！

って思っておきましょう。

教わる事のデメリット

習うのはいい事ばかりじゃない

わたしは普通科の高卒で、大学はおろか専門学校も行ってないし、なんだったら誰かにギターを習ったことすらありません。なんでかというと、実はわたしは「習うのが苦手」な人なのです。「こうしてください」とか「ああしてください」とか言われるよりは「いや、勝手に盗むんでちょっと実際にやってみてもらっていいですか？」という嫌なタイプの人間なのです(笑)。だって10の事を教えてもらうのに1つ1つ説明してもらってたら30くらい時間が掛かりそうじゃないですか。それよりその10を何回か見せてもらって勝手に盗んでいった方が15くらいの時間で済むから残りの時間をまた別の10の習得に費やしたいのです。説明してもらっている時間が勿体ないと思っちゃう。

「まねぶ」の時も同じことを書きましたが、物事は基本的に盗む事が一番の近道です。習う事、教わる事に慣れすぎてしまうと自分から能動的に動く癖を奪われてしまいがち。そういった目線も大事にしていきましょう。なぜかというところ！！僕がみなさんに最終的になって欲しい状態というのは**瀧澤克成みたいな人間がいなくても十分練習や上達出来る様に自立してもらう事なのです！！**でもたまには連絡してください、ほんとにとっかいたちゃったら寂しいので(笑)。

●さいごに

ちょっと最後はなんか僕の話でもさせていただけませんか。凄く大事な事をいいますので、暇な時にのほほんと眺めて読んで頂ければ幸いです。よくある「読まなくていいけどうんたら」みたいな事は言いません。読みなさい、聞きなさい、わたしの話を。悪いこといわないから。わたしの生い立ちやギターを始めたきっかけとかに関してはnoteにまとめておりますので、興味があったら是非読んでみてください。みなさんから見たら「YouTubeで活躍している凄い人」みたいなイメージかも知れませんが、びっくりする程、わたしは凡人です。

そんなびっくりする程に凡人のわたし、2020年4月現在36歳。ギターを始めてからどうやら24年も経ったようです。わたしはギターを通して、ギターを続ける事で何をしたかったのだろうか、何を伝えたかったのだろうか、わたしにとってギターとは、人生とは。そんな事をよく考えるようになりました。なぜ、今もギターを弾くのか。

わたしはですね、昔から誰かを喜ばせるのが凄く好きなのです。何かを共有したり、教えてあげたり、プレゼントしたり。ちょっと小さい頃のトラウマというところだけですが、思えば小さい頃に沢山色々な物を奪われる様な経験をしたから、自分はそんな人間になりたくない、こんな悲しみを誰かに味あわせたくない、そんな反面教師な経験から人が喜ぶ顔や楽しそうにする姿を求めるようになった様な気がします。少し綺麗事で盛ってる感もありますが、まあそれはそれで嘘ではないと胸を張って言える。誰かを救うには、誰かを喜ばせるには、誰かを幸せにするにはどうしたらいいのか。その答えは直感的に、始めてギターを手にした12歳のあの頃に出ている様な気がします。なぜかという、今まで人生で選んできた沢山の選択肢は全て今につながっていて、今の自分自身が全て最高の選択をしてきた結果である心から思えるからです。

わたしはただひたすらに「できる事」を増やしてきました。自分の能力を、知識を、経験を、出来る範囲で最大限に獲得して。できる事が増えれば増える程、知識や経験を重ねれば重ねる程、自分は強い存在になって、もっともっと多くの人を助けたり救ったりする事が出来る。そういった事に早い段階で直感的に気付いてたから、動画編集やイラスト、こういったテキストを作る能力や技術を身に付けて、今こうして実際にみなさんのお手元にテキストをお届けできています。これはいつてみればインターネットというツールを通して、ギターという共通の項目を通して、みなさんのお手元に今までわたしが積み重ねてきた経験の一部をお届け出来ているという事。それが出来て、ほんまにわたしは幸せです。

今回アコギの練習という事で今まで色々な動画を見ていただいて、テキストをチェックしていただいて、沢山練習をしていただいて、沢山の発見や経験をして頂けたかと思えます。そんな中、僕がギターを通してみなさんに一番伝えたかった事というのは「ギターの楽しさ」とか「音楽の面白さ」とかももちろんあるんですけども、もっともっと根本的な所。もっともっとシンプルな話なんです。

それは何かというと「努力をしたらした分だけ必ず結果に繋がる」って事。極めてシンプルで、普遍で、なおかつ超強力な教訓です。ギターはコレを教えてくれた。そしてわたしは、それをあなたに伝えたい。今まで沢山練習をして努力を積み重ねたら積み重ねた分だけ、めちゃめちゃ実感としてこの言葉が響くと思います。それが理解できればいろんな物事が無駄だとは思えなくなるし、なによりも何をするにしても喜びや幸せに繋がるような気がするのです。

今日もまた一つ、ギターを続けてきた事で、あなたに何かを伝えたいというわたしの夢が一つ叶いました。本当にありがとうございます。ギターと共に！！お互い最高の人生を楽しんでいきましょう！！ぐっばい！！

2020.4.15 瀧澤克成